

### 冬季訓練を実施しました

当発電所は、冬季特有の厳しい環境下においても、各種安全対策が有効に機能することを確認するとともに、各種手順のさらなる習熟を図るため、屋外での冬季訓練を実施しました。

今後も、冬季や夜間・休日等、さまざまな状況を想定した訓練を繰り返す行い、緊急時の対応力の向上に努めてまいります。

#### 【主な訓練項目】

##### ■アクセスルート確保訓練

電源車や消防車等の移動に必要なルートを確認するため、段差ができた道路を整地する訓練



ホイールローダで段差を解消(2月22日)

##### ■送水車(代替海水ポンプ)設置訓練

発電所敷地内に配備している送水車を港湾部へ移動させ、送水用ホースを海水熱交換器建屋まで敷設する訓練



送水車から水中ポンプを搬出

送水用ホースを敷設(2月23日)

##### ■電源確保訓練

電源車や大容量電源装置から発電所設備へ電源供給を行う訓練



電源車にケーブルを接続

電柱にケーブルを接続(3月8日)



大容量電源装置全景

大容量電源装置の起動操作(3月10日)

### 「東通村歩くスキーの集い」の運営をお手伝いしました

2月18日に行われた東通村主催の「東通村歩くスキーの集い」に、実行委員会のメンバーとして、当発電所員が運営のお手伝いをしました。

当日は、晴天のもと、ひとみの里公園において、「小学生スキー大会」のほか、一般の部「歩くスキー大会」が開催されました。一般の部「歩くスキー大会」には、当発電所員も参加し、東通村砂子又地区のコースを滑走するなど、大会を通じて、東通村の冬の美しい自然に親しみました。

当発電所では、これからも、地域行事に積極的に協力・参加させていただくなど、地域の皆さまとのふれあいを大切にし、信頼され、親しまれる発電所を目指してまいります。



ひとみの里に作られた特設コースを滑走する小学生



滑走する一般の部の参加者

### 北海道電力と「原子力災害時における相互協力に関する基本合意」を締結しました

当社は、3月10日、北海道電力株式会社と「原子力災害時における相互協力に関する基本合意」を締結しました。

この基本合意は、両社が地理的に近いという状況を生かし、地域の皆さまの避難支援に関する相互協力を充実させるとともに、緊急時モニタリング<sup>※1</sup>や避難退域時検査<sup>※2</sup>を速やかに開始するなど、原子力災害時の避難支援の即応性を高めるものです。

今後、相互協力の詳細について、国や関係自治体と連携しながら両社で協議し決定してまいります。

※1 放射性物質もしくは放射線の異常な放出又はそのおそれがある場合に実施する環境放射線モニタリング。

※2 避難や一時移転される方の汚染状況を確認するために実施される検査。